

柿田川生態系研究会

「柿田川サマーサイエンススクール」開催報告

自然環境グループ 研究員 澤田 みつ子
 主席研究員 宮本 健也

1. はじめに

令和元年7月31日(水)、清水町立清水小学校(静岡県駿東郡清水町)にて「柿田川サマーサイエンススクール」(今年で10回目)が、柿田川生態系研究会と沼津河川国道事務所との共同主催で開催されました。

2. 今回のスクールの内容

柿田川の特徴や環境を体感し、科学への興味や身近な自然環境への関心等を一層深めてもらうことを目的に、柿田川周辺の地域に住む小学5～6年生とその保護者を対象に開催しました(参加人数は児童14名、保護者13名の計27名)。

講師は、柿田川生態系研究会メンバーである、静岡大学の加藤憲二名誉教授、塚越哲教授、京都大学の竹門康弘准教授、信州大学の東城幸治教授の4名が務めました。また、静岡大学、信州大学、京都大学から計9名の学生が各班付き講師として参加し、参加者の引率等を行いました。

スクールでは、開会挨拶と学習説明の後、午前中は柿田川でたも網を使った生物の採取を行いました。昼食を経て、午後からは採取した生き物の分類と観察を行いました。生物は種ごとに透明なカップに分類した後、双眼実体顕微鏡による観察を行いました。また、スクールの最後にこの日に見つかった生物の種数の集計を行いました。

表-1 スクールの時間割

時間	内容
9:00	・開会あいさつ・学習の説明
10:00	・柿田川での生物の採取
11:30	・昼食
12:30	・採取した生物の分類・観察・集計 ・水草の光合成の実験
15:00	・閉会・解散

3. 参加者からの反応

スクール後の参加者アンケートでは「質問:柿田川の環境を守りたいと思いませんか」に対し、全児童が「そう思う」と回答するなど、環境の保全に対して積極的な感想を持った様子でした。また、保護者からも「なかなかできない体験ができて良かった」等の好意的なコメントを得ました。

4. おわりに

令和元年度 柿田川サマーサイエンススクールの実施に際しては、公益財団法人 河川財団の河川基金助成事業の助成を受けています。開催に際し清水町立清水

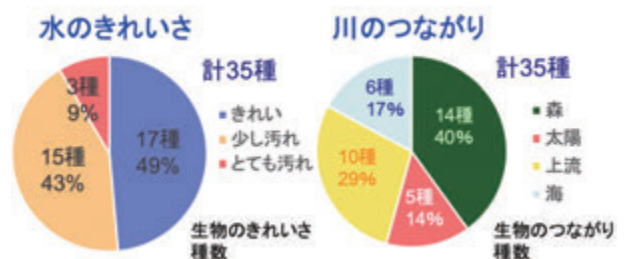
小学校からは理科室・教材園等の施設・設備をお借りしました。清水町教育委員会と静岡大学からは後援を頂きました。各機関に御礼申し上げます。



写真-1 たも網による生物の採取の様子 (安全のためライフジャケット、ヘルメットを着用)



図-1 水生生物の分類作業(上)、児童によるスケッチ(下)



図：柿田川生態系研究会

図-2 集計結果：水のきれいさを示す種数(左)、川と周りの自然環境のつながりを示す種数(右)